

実施主体、事業名などの概要

- ・事業名：人とコウノトリが共生するまち・豊岡リジェネラティブな旅
～Regenerative journey to discover the stories of the storks～
- ・実施主体：一般社団法人豊岡観光イノベーション
- ・対象地域：兵庫県豊岡市
- ・対象とする良好な環境：コウノトリ育む祥雲寺水田とビオトープ、コウノトリ育む中筋の里地里山、ラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」

地域の現状・課題

- コウノトリの生息地保全の拠点である「兵庫県立コウノトリの郷公園」の来園者数の減少
- コウノトリ野生復帰に取り組んできた地域住民の活動意欲の低下、取り組み継続の人材や資金の確保
- コウノトリ野生復帰を通じて再生・創出された良好な環境は、観光資源としての可能性は十分あるが、観光に活かしきれておらず地域振興への波及効果が限定的

実施項目（事業内での取組）

- コンテンツの磨き上げ（イベント・モニターツアーによるコンテンツ改善）
- ツアーガイド養成・スキルアップ
- コースの増設（新規コース）
- 販売プロモーション

R7：コンテンツ造成

R8：コンテンツの磨き上げ

実施項目（事業内での取組）

- サイクリングツアーの造成
- ツアーガイド養成
- MAPの作成
- 販売プロモーション

目指すべき姿（中長期ビジョン）

- インバウンド誘客を通じて「コウノトリ育むお米」を使った商品等の消費を促進し、地域経済を活性化。「コウノトリ育む農法」の普及により生息地の拡大と持続的な環境保全を実現する
- 地域の暮らしに根差した歴史や文化を観光コンテンツとして活用し、交流人口を増やすとともに、それらの地域資源の観光利用への理解を深め、良好な環境の保全とシビックプライドの醸成に繋げる

R9：販売促進

（事業期間終了後）

実施項目（自走化）

- 販売プロモーション
- コンテンツの磨き上げ（実販売によるコンテンツ改善）
- ルート派生版・オプション造成
- ツアーガイド養成・スキルアップ

対象となる良好な環境の概要

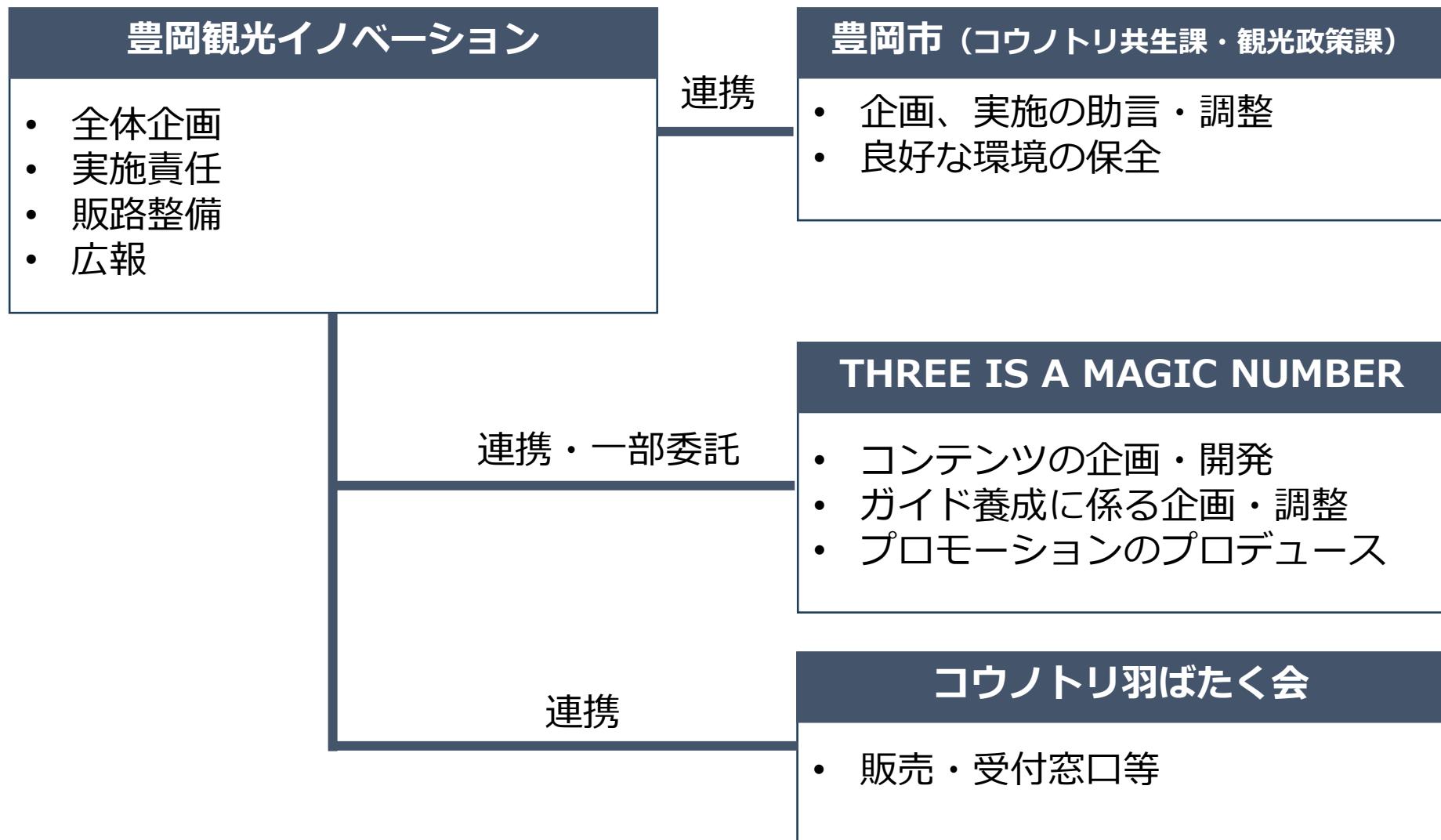


- ・兵庫県豊岡市は、海・川・湿地・里山がつながる自然環境と、城崎温泉街や城下町出石に息づく歴史文化を背景に「人とコウノトリが共生するまち」を目指している
- ・かつて日本から姿を消したコウノトリの野生復帰に取り組み、「兵庫県立コウノトリの郷公園」を中心に、市内を流れる一級河川・円山川流域で、コウノトリ生息できる豊かな自然の再生と創出が進められている
- ・コウノトリを核とした「コウノトリ育む農法」などを通じて、環境と経済が循環する地域づくりが根づいてる
- ・また、市内には自然共生サイトやラムサール条約登録湿地「円山川下流域・周辺水田」、「山陰海岸ジオパーク」などの国際的にも価値の高い自然資源が広がり、加えて、円山川流域に自生するコリヤナギを原料とした「豊岡杞柳細工」や、その技術を受け継ぐ「豊岡鞆」など、自然とともに発展してき産業が、自然と共生する豊岡の環境文化を象徴している

良好な環境に係るストーリー

- かつて日本の空を優雅に舞っていた「コウノトリ」は、乱獲、餌場の喪失、農薬の大量散布といった社会の急激な変化により1971年にその姿を消した。豊岡市では、コウノトリの野生復帰を目指し、コウノトリが暮らせる自然環境と人々の暮らし・文化の再生・創出に取り組んできた
- 2005年に初の放鳥を実施。コウノトリの放鳥が行われた「兵庫県立コウノトリの郷公園」周辺エリアを中心に、生きものを育む農法の展開や多様な水辺の再生など、生物多様性を保全する守る環境づくりを進めてきた。取組みの中で生まれた「コウノトリ育む農法」は、コウノトリが安心して餌を啄む生息地を提供するとともに、農家の所得向上にも貢献している。また、訪れる人々に心地よい風景も届けている
- 観光を通じて、こうした再生のストーリーや環境保全の取り組みに共感し、人々の営みとその過程で生み出される自然からの恵み（米、酒、スイーツ等、また、文化や歴史等）を享受することで、地域への貢献に繋がる
- コウノトリが舞う空の下、自然のやさしさと人の営み、そして文化が調和することにしかない価値を体験できる

実施体制（図示）



【R7年度取組】

サイクリングツアーの造成 【実施中】

- サイクリングガイドによるプライベートサイクリングツアーアの造成
- レンタサイクルを活用したセルフツアーコース設定

ツアーガイド養成 【実施中】

- ツアーガイド養成（全3回の講座）
- モニターツアーの実施



MAP作成【実施中】

- セルフトツアーア用紙媒体MAP作成（英語）
- デジタルMAP作成（コース）

販売プロモーション 【実施中】

- 販売戦略の策定
- WEBページ作成（体験予約ページ含む）
- SNS情報発信

今後のスケジュール

- サイクリングコースの専門家による試走を経て、インバウンド向けを考慮し、今回は豊岡市街地から円山川下流域コースを選定。ツアータリフを作成中
- 12月：レンタサイクルによるセルフツアーコースの設定
- 1月：ツアーア造成、造成ツアーアの4月以降予約受付開始

今後のスケジュール

- 9/13 「自転車をとりまく交通環境とサイクリツアーガイドの役割の確認」終了：4名受講
- 11/8 「サイクリツアーガイドに必要なスキルの習得（ハード編）」終了：3名受講
- 11/15 「サイクリツアーガイドに必要なスキルの習得（ソフト編）」終了：3名受講
- 11/23 モニターツアー

今後のスケジュール

- 12月：デジタルMAP作成
- 1月：紙媒体MAP作成

今後のスケジュール

- ~11月：コンテンツ・PR用素材撮影
- ~12月：販売戦略の策定
- 12月：サイクリングツアートリフWEBページ作成
- 12月：サイクリングツアーア予約受付ページ作成（3月下旬～受付）
- 1-2月：SNSでの情報発信

R7年度のゴール

- 良好的な環境を体感できるガイド付きサイクリングツアーアの商品化

課題

- 自然環境だけでなく、地域の歴史・文化・暮らしを伝えるガイドの養成には、経験と知識、ネットワークが必要であり、一定の時間を要する。
- 自然、生きもの、食、文化、暮らし等、多種多様な地域の資源を、ここにしかない価値として、ストーリー化し、適切に繋いでいくかの検討

人とコウノトリが共生するまち・豊岡リジェネラティブな旅：ストーリー

コウノトリ、環境、産業、文化の再生 リジェネラティブなまち～再生の現場を巡り・体験する～

1. コウノトリの郷公園（絶滅から再生へのストーリー）

- ・豊岡を最後に日本のコウノトリは絶滅
- ・復活の兆し
- ・そして野生復帰へ
- ・環境、産業、文化の再生

2. 久々比神社（コウノトリと豊岡の縁起、つながり）

- ・幸せを運ぶコウノトリ

3. 円山川等、多様な水辺（コウノトリを支える環境）

(1) 円山川

- ・緩やかな河川と広い汽水域が生きものを育む
- ・水害の多さ

(2) 水田

①生息地としての水田

- ・圃場整備による乾田化と食糧増産期の農薬の大
量使用
- ・水田における生物多様性の保全（魚道やビオ
トープなど）

②持続可能な水田として

- ・生業としての農業、コウノトリ育む農法の普及
- ・環境と経済の好循環、持続可能な取組みへ

(3) ラムサールエリア

- ・コウノトリの生息地が世界的に重要な湿地へ

4. 玄武洞公園（豊岡の特徴的な自然の成り立ち）

- ・盆地と円山川下流域の低湿地帯の成り立ち
※特徴的な環境による気象現象（雲海・川あらし）、
霧の研究所
- ・周辺の集落に使われている玄武岩
- ・豊かな自然があったからこそ、コウノトリは最後まで
暮らせた
- ・自然環境・風土に育まれた豊岡の人々の気質が
その理由の一つ

5. 城崎温泉街

- ・自然と共に生きる地域の歴史・生活文化に触れる

6. 各スポット（コウノトリテラス、58N、

FRUIT HARVEST田中農園等）

①多様な恵み（生態系サービス）、環境と経済の好循環

- ・コウノトリ育むお米、コウノトリ育むお米を使った
スイーツ
- ・果樹など、その他の農産物

②物語の登場人物の一人になる

- ・体験プログラムへの参加（保全）
- ・Donation

＜今後の検討事項＞

- ①コウノトリの郷公園周辺の水田での田植え等の農作業体験
- ②ハチゴロウの戸島湿地での草刈り等の湿地保全プログラム等
- ③ビオトープや観察広場でのボランティア作業や生き物調査等
- ④コウノトリテラスでのピクニックセットの販売企画（コーヒー＆コウノトリ育むお米を使ったスイーツ）

人とコウノトリが共生するまち・豊岡リジェネラティブな旅：ガイド養成講座



第1回：9月13日「自転車をとりまく交通環境とサイクリルツアーガイドの役割の確認」
第2回：11月8日「サイクリルツアーガイドに必要なスキルの習得（ハード編）」
第3回：11月15日「サイクリルツアーガイドに必要なスキルの習得（ソフト編）」
モニターツアー（ガイド最終講座）：11月23日

- 講師：木多淳公（きたあつまさ）さん：日本サイクルツーリズム推進協会公認ガイド
- 参加者（第1回：4名、第2・3回：3名）
 - 中田樹さん：フランスに5年在住。カフェ経営。ローカルガイド認定者
 - Duke Williamさん：アメリカ・アーカンソー出身。豊岡でALTとして働く
 - 岡田宏一さん：大阪府出身。今夏豊岡市に移住。ローカルガイド認定者
*1回目のみ
 - 忠平彩子さん：村岡町出身。通訳案内士として活躍。ローカルガイド認定者
- 内容
 - 2026年4月1日から改訂される「道路交通法」について学ぶ
 - サイクリングの装備、走行スキル、メカトラブル対処と救急装備について学ぶ
 - 自転車での実地講習
- ツアー実施に向けたタスク
 - ガイドの自転車安全走行のスキルアップ・救急救命講習
 - ガイドマニュアル整備
 - ガイドの服装・持ち物リスト
 - 手信号
 - 走行前・走行中のガイドの説明概要
 - ツアー前の点検項目
 - 免責事項（項目の洗い出し）
 - ツアーに最低限必要なツール整備
 - 携帯用自転車工具・救急用具、病院・警察・タクシー等連絡先
 - フロントライト、リアライト/リフレクター、バックミラー、バイクロック



人とコウノトリが共生するまち・豊岡リジェネラティブな旅：ルート設定

ルート： (JR豊岡駅) コウノトリの郷公園から城崎温泉

距離 19.8km / 平坦基調 +179 m / -179 m

● ストーリー性

コウノトリの絶滅と復活の背景にある豊かな自然環境に触れ、人々の暮らしと自然との関わりを感じながら、持続可能な社会を目指して歩んできた地域の歴史と文化に出会う。

● ルート要素

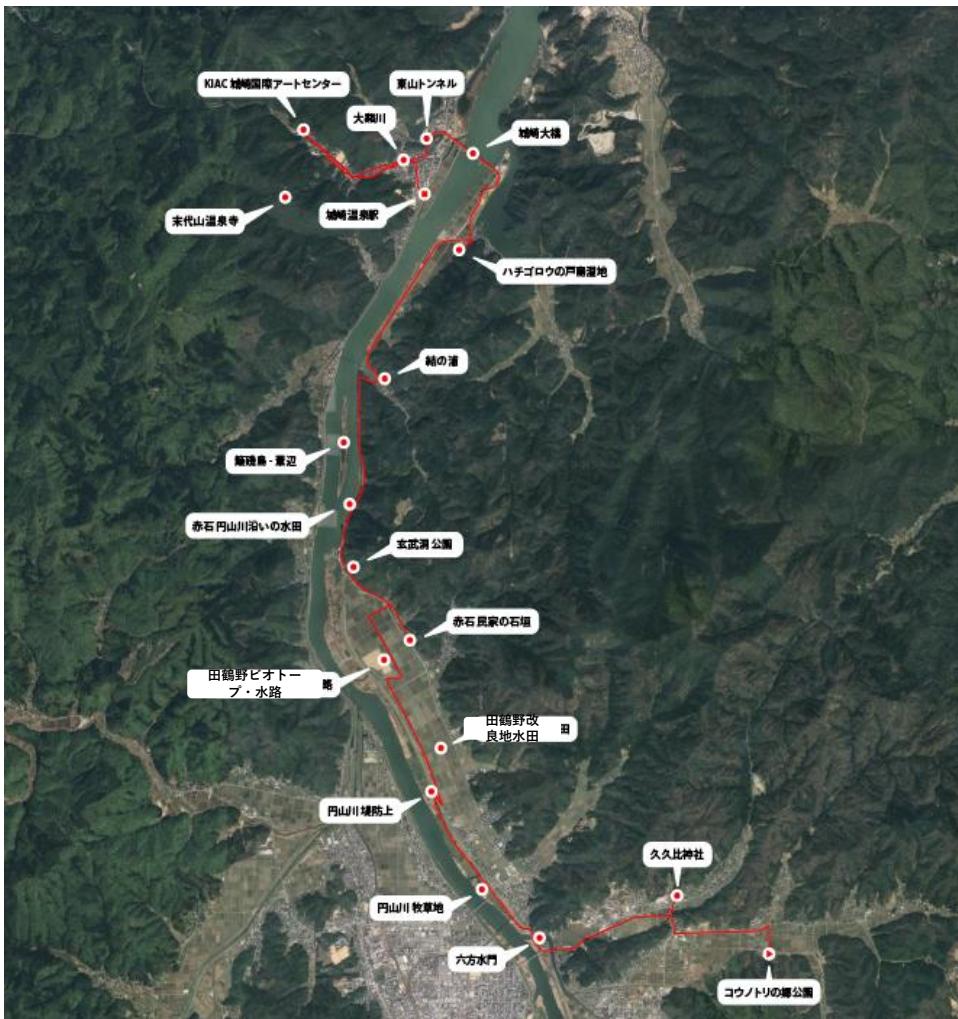
- 自然環境に触れる
 - ✓ コウノトリの郷公園
 - ✓ 玄武洞公園（地形）・円山川流域
- 自然と人の営みに触れる
 - ✓ 水田風景：農家
 - ✓ 戸島湿地：コウノトリの餌場環境保全活動
- 地域の歴史・文化に触れる
 - ✓ コウノトリの絶滅と野生復帰
 - ✓ 人もコウノトリもともに暮らせる社会
 - ✓ 城崎温泉：震災からの復興（共存共栄のまちづくり）

● 安全性

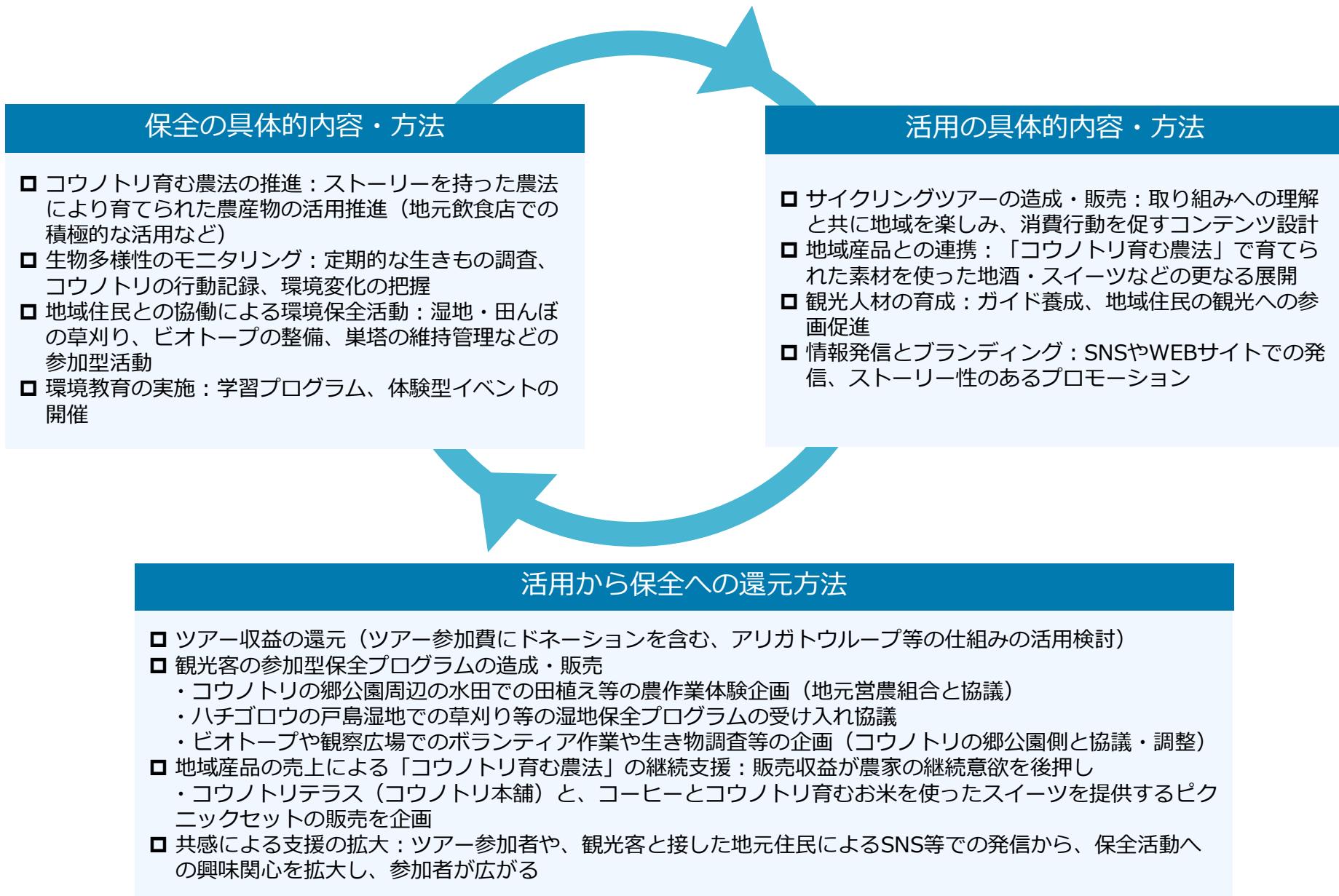
全体として、安全に実施できる環境は整っている。ルールを遵守すると共にガイド及び参加者自身が安全確認をすることで、十分な安全を確保することが可能。道路の舗装状態も良好で、安全な走行ができるが、細かな段差等は注意喚起をする必要がある。

● 課題

- 天候、ゲストの興味関心による、フレキシブルな対応
 - コンテンツの知識量、地域の方とのコミュニケーション力
- ※上記ルートをベースとして、①JR豊岡駅→城崎温泉、②JR豊岡駅→JR豊岡駅（コウノトリの郷公園に行き戻る）、③JR豊岡駅→JR豊岡駅（玄武洞から対岸渡り列車で戻る）の造成を検討中



本事業を通して実現する「保全と活用の好循環」の仕組み



【R8年度取組】

コンテンツの磨き上げ (イベント・モニターツアーによるコンテンツ改善)

- コンテンツの磨き上げ（ガイドのスキルアップ、参加者フィードバックを経ての磨き上げ）
- 外国人誘客の専門家を対象としたモニターツアーの実施

コースの増設 (新規コース)

- R7年度にツアー造成に至らなかったコースのプランの造成
- 造成コースを基本とした派生版

ツアーガイド養成

- ツアーガイドのスキルアップ講座
- 著名サイクリストによるモニターツアー
- R7年度に実施できていないコースのガイド認定試験

販売プロモーション

- 認知度向上のための広告運用
- サイクリングツアーアイベントの開催
- 著名サイクリストによるモニターツアー

想定する成果

- コンテンツのブラッシュアップを実施
- コース上の安全調査等

想定する成果

- 顧客の興味関心に沿った体験の提供
- ツアー参加者促進
- より多くの自然環境、文化背景を体感する機会の創出
- 観光に参画する地域住民の拡大

想定する成果

- ガイドスキルの上昇
- ツアーの増大
- 顧客満足度の向上

想定する成果

- 著名サイクリストのSNS等での情報発信によりPR
- コンテンツの磨きあげ
- ツアー参加者促進
- 良好な環境の認知拡大

R8年度のゴール

- ツアー利用者による郷公園への来園者増
- ガイドのスキルアップ
- コウノトリの生息地を中心とする良好な環境の情報発信と認知拡大

想定される課題

- ガイドのスキル
- ターゲットへのリーチ
- ガイド人数と自転車台数の確保（催行回数のアップ）